法哲学Ⅰ

科目ナンバリング　FUL-303
選択　　2単位

長谷川　陽子

1. 授業の概要（ねらい）

「法を哲学する」ということはどういうことでしょうか。本講義では、法の根本問題に関わる現代法哲学の展開を概括します。原理的・理論的な考察を必要とする法の根本問題とはいかなるものであり、それにかかわる法哲学的議論の状況がどのようになっているかについて解説します。法の全体像と法に関する基本的な考え方を理解することで、法実務や法実践の場における姿勢の基礎を構築します。

2. 授業の到達目標

①法の現状と法哲学のかかわりについて理解することができる。
②法哲学議論の焦点を把握することができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末の論述式試験（83%）を中心に評価します。出席確認を兼ねた感想シート（17%）を配布し、内容に応じて加点をします。

4. 教科書・参考文献

教科書
那須耕介・平井亮輔 編　『レクチャー法哲学』　法律文化社

5. 準備学修の内容

授業の該当箇所の教科書とレジュメ内容などの予習・復習を行ってください。

6. その他履修上の注意事項

講義中は、他人への迷惑行為および私語を禁じます。該当の場合には、退室をお願いしています。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：授業の概要と進め方　法哲学で扱うこと
【第2回】　法的思考と裁判
【第3回】　法的思考の諸相（1）ハートの司法的裁量論
【第4回】　法的思考の諸相（2）ドゥオーキンの司法的裁量論
【第5回】　法と正義（1）法の目的と正義
【第6回】　法と正義（2）正義の諸観念
【第7回】　法と正義（3）法の目的は正義か
【第8回】　法と正義（4）正義に正解輪はあるか
【第9回】　リベラリズムと正義（1）功利主義
【第10回】　リベラリズムと正義（2）公正としての正義
【第11回】　リベラリズムと正義（3）平等な配慮への権利
【第12回】　リベラリズムと正義（4）リバタリアニズム
【第13回】　ポスト・リベラリズムと正義（1）哲学と民主主義
【第14回】　ポスト・リベラリズムと正義（2）コミュニタリアンからの視角
【第15回】　まとめと振り返り